

厄神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

当神社は、神速須佐之男命を奉斎し、56代清和天皇の貞観9年（867平安前期）8月備後の国鞆之津祇園宮から小林庄都羅之郷、宮之壇（現宮之浦）に勧請「葉神宮」と称した。

その後土地開発により住民が連島山脈の南面に移住すると、第99代後亀山天皇の天授3年（1378南北朝）春日北朝の永和3年春日字小船（現西之浦）の地に奉遷し、「疫神宮」と改称した。

第101代称光天皇の応永23年（1416室町中期）11月13日字小川（西之浦）の地に遷し奉り、又第104代後柏原天皇の大永8年（1529室町後期）5月吉日古宮（現西浦小学校東端）に遷宮した。再び第107代後陽成天皇の慶長12年（1607幕末）の秋、願主物部氏、船氏、生和氏等協力して御本殿を建立した。

第111代東山天皇の宝永6年（1709江戸中期）9月7日現地当山の石山に奉遷し、「厄神宮」と称した。

明治7年神仏分離により「厄神社」と改称する。当山遷座後、大正10年奉遷200年祭、昭和46年5月奉遷250年祭を執行現在に至る。

往古よりあらゆる災難防護、病氣平癒、産業繁栄、文芸、学問の神として知られており、その御神徳を仰ぎつつ、更に現在では厄除祈願、安全祈願等が盛んに行われている。また多くの会社企業等から業務の安全、繁栄を祈り広く崇敬されている。

前の写真へ次

基本情報

神社コード 02043

神社名 厄神社（ヤクジンジャ）

通称名 やくじんさま

旧社格 村社

鎮座地 〒712-8001 倉敷市連島町西之浦3815

電話番号 086-444-7372

FAX番号

駐車場 有 10台

御祭神 神速須佐之男命

御神徳 厄除け、安全祈願

主な祭典 5月15日に近い日曜日：春祭
7月休み最初の日曜日：夏越大祓祭
10月16・17日（第2日曜日の土日）：秋季例大祭

宮司宅電話

URL

e-mail

特記事項 境内に近代詩人、薄田泣菫の詩碑有り

氏子地域 倉敷市（連島町西之浦、水島海岸通、水島中通、水島西通、水島川崎通）

交通アクセス

倉敷駅から水島方面 10 km、バスで 30 分 新倉敷駅から連島方面へ 7 km バスで 20 分

神事一覧

夏越祭 祭礼日時：7月下旬18時 文化財指定： 無 [神事詳細](#)

神輿行事 祭礼日時：10月16日、10月17日 文化財指定： 無 [神事詳細](#)

[検索画面に戻る](#)



© 2016 Okayamaken Jinjacho